

## II 学校経営計画

### 1 教育目標

- ・心身共に健康で、意欲を持って学ぶ児童の育成

### 2 教育方針

- ・「第2期石川の教育振興基本計画」の基本理念に基づき、「七尾市教育大綱」を踏まえ、組織的、計画的、効果的教育活動の推進を図る。

### 3 中・長期目標

- ◇確かな学力を身に付け、意欲的に学び合う児童を育てる。
- ◇思いやりがあり、自尊感情の高い児童を育てる。
- ◇地域や学校を愛し、誇りに思える児童を育てる。

### 4 めざす学校像

- ◇子どもが毎日喜んで通える学校
- ◇全教職員が共通の目標に向かって協働する学校
- ◇安心・安全で家庭・地域から信頼される学校

### 5 めざす子ども像・・・「やる気」「個性」「元気」あふれる和倉っ子

- ◇自ら学び、考える子（知）
- ◇自分の長所に気付く子（徳）
- ◇前向きで、たくましい子（体）

### 6 めざす教職員像

- ◇児童と真摯に向き合う、人間性の高い教職員
- ◇わかる授業を目指す、指導力の高い教職員
- ◇教育のプロとしてのプライドを持つ、使命感の高い教職員

### 7 重点目標と努力事項

#### ◎確かな学力の育成

- ・学力向上ロードマップを活用しながら、きめ細やかな指導体制を確立し、学力向上を推進する。
- ・学力調査結果の分析や質問紙調査などの集計を基に、付けたい力を明確にした授業実践を図る。
- ・「聞く・話す」力の定着とコミュニケーション能力の育成を図る。
- ・意図的・計画的に、帯タイムや長期休業中の補充学習を活用して、学力の定着を図る。
- ・家庭との連携を強化し、家庭学習の手引きや「宿題パーフェクト大作戦」等の取組による家庭学習の定着・充実を図る。
- ・既習を活かし学びにつながるタイムリー掲示に努める。

#### ◎教職員の授業力の向上

- ・校内研修や要請訪問を積極的・計画的に行い、学校研究を推進する。
- ・「授業が児童と向き合う一番の場」の共通認識のもと、わかる授業を推進する。

- ・付けたい力を明確にし、学びの実感が持てる授業実践に努める。
- ・「相互授業参観」による授業改善に努める。
- ・児童の学習意欲を高めるために、ICT機器を効果的に活用する。

#### ◎教職員の資質・能力の向上

- ・校務をチームで分担し、リーダーを中心に役割と責任を明確にし、運営や改善を図る。
- ・OJTやミニ部会による共通理解と共通実践を推進し、組織の一員としての自覚を高める。
- ・若手とベテランの互いの長所を伸ばし、風通しのよい職場を創る。
- ・危機管理と服務規律の遵守を徹底する。

#### ◎組織的な学校運営

- ・学校経営評価計画を基に、PDCAサイクルによる工夫・改善を行い、学校運営の充実を図る。
- ・学校運営委員会及び主任会で、学校が抱える喫緊の課題を把握し、迅速に対応する。
- ・「チーム和倉」を合い言葉に、報告・連絡・相談を密にし、一人で抱えこませない組織を作る。

#### ◎教職員の働き方や業務改善

- ・校務部と研究部の構成員を統一し、部会や各種会議の効率化を図る。
- ・学校評価の評価項目を設け、継続的に評価・改善を行う。

#### ◎信頼される学校づくり

- ・前例踏襲にならないように教育活動や諸行事などを計画的に企画し、説明責任を果たし、保護者や地域の理解と協力を得る。
- ・保護者や地域と連携・協力し、外部人材を効果的に活用し、学校の活性化に努める。
- ・保護者と地域の意見や学校評価を生かし、学校運営の改善に努める。

#### ◎生徒指導の充実

- ・自尊感情を高めるために、児童会及び縦割り活動や地域とのふれあい活動を積極的に行う。
- ・児童会主体による、元気な声で「おもいやり挨拶」をする習慣の定着を図る。
- ・生活アンケート（いじめ等）やQU調査、児童理解会議などを定期的・計画的に行い、いじめや不登校の未然防止に努め、チームで早期の発見と対応を行う。
- ・生徒指導の3機能を活かした居場所づくりと絆づくりに努める

#### ◎心の教育の充実

- ・「道徳の授業」を積極的に公開し、計画的な実践を通して、豊かな心の育成に努める。
- ・「よいことみつけ」や構成的エンカウンターなどを取り入れ、日常的に自己有用感や自己肯定感を持たせるような場面や機会を設定する。
- ・伝統芸能継承、地域学習、施設訪問などを通して、郷土愛や他者理解などの心を育成する。
- ・「無言清掃」を通して、考える力と見つける力を育成する。

#### ◎健康の保持増進及び安全管理

- ・家庭や地域と連携して、「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣の推進と定着を図る。
- ・体力アップ1校1プランやスポチャレいしかわへの積極的な参画・実践を図る。
- ・防災教育、避難訓練、安全点検などを計画的に実施し、安全・安心への意識の高揚を図る。

#### ◎幼保・小・中との連携

- ・幼保への定期訪問と情報交換を密にして小1プロブレムの防止を図る。
- ・中学校教諭による実技指導や出前授業を実施し、指導力の向上を図る。